

不安との付き合い方と次学年の準備

茗溪塾塾長 長谷 誠基

2月になり、この原稿を書いている時点で中学受験の東京・神奈川入試と大学受験の私立入試が本格的にスタートしたところです。新型コロナの影響を大きく受けた今年の受験生ですが、現在のところ想定以上の頑張りを見せてくれています。各教室に送られてくる合格 FAX(ある程度のランク以上の学校)の数もいつもより多く感じます。学校が休校になり、塾もオンライン授業になったり、夏の合宿などが出来なくなったりと、例年のスケジュールとは違う引っ張り方をした学年だったと思います。しかし、先生方の頑張りと生徒の皆さんの積極的な参加もあり拠点ごとに分かれた特訓などで、例年と同様の効果をあげられたのではないかと思います。まだ入試は続いていますので、本格的な総括はもう少し後にするとして、次は高校受験と大学受験が本番を迎えます。高校受験は2月10日からの東京の私立入試に続いて、各県立の入試。大学受験は私立の入試に続いて国公立の入試が控えています。この時期になるといろいろなところから「早く入試を終えたい…」という声が聞こえてきます。たしかに長期間にわたる勉強、そして受験にたいしての緊張や不安が今各受験生にのしかかっているのだと思います。気持ちはわかりますが、不安を吐露したところでなくなることはありません。今の時期は不安を聞きはしますが、「不安をなくすには勉強しかないね。」と行ってすぐに勉強に向かわせてしまいます。1分1秒でも勉強して少しでも実力をつけることでしか解決できない問題だと思っています。前号でも書きましたが、ここまで来たら心を決めて受験に向かうしかありません。不安なのはみんな同じ。自分だけではないのです。

さて、2月はもう一つ中学受験のコースが新学期を迎えます。いち早く新しい学年としてのスタートを切ります。新しい教材でよいスタートを切るためにもまず学習の計画を立てましょう。各クラスの最初の授業でスタートガイダンスというものを行います。ガイダンスでは、良い習慣を身につけることの重要性、学習を習慣づけるためにどうすればいいのかなどが話され、1週間の学習計画を作っていきます。はじめは作ったスケジュール通りに学習を進めてみましょう。やっているうちにうまくいかないことが出てきたら少しずつ修正して、自分に一番合ったものにしていけばいいのです。宿題をやり切るには結構な時間が必要です。計画を立てることでどこなら時間を取れるのかもわかってきます。土曜や日曜などは学習量を一気に増やすチャンスです。家でなかなか勉強が進まないときは、塾の自習室なども利用してみるというでしょう。1年後、2年後に志望校に合格するためにまずきちんとした計画を立てましょう。